

第 2 期三田市子ども・子育て支援事業計画（令和 2 年度～令和 6 年度）
 における 0 歳～14 歳人口推計及び需要見込みについて

1 概 要

子ども・子育て支援法第 61 条に基づく「第 2 期三田市子ども・子育て支援事業計画（計画期間：令和 2 年度～令和 6 年度）」策定にあたり、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業における今後の需要見込みを算出する。

2. 0 歳～14 歳人口推計について

(1) 算出方法

- ア 平成 27 年度から平成 31 年度の人口実績をもとに、コーホート変化率法により令和 2 年度から令和 6 年度の児童数見込みを算出した。
- イ 今後、ウッディタウンの住宅開発がピークを過ぎたことにより、転入が減少すると予想されることから伸び率を調整した。
- ウ 児童数見込みをもとに、各事業のこれまでの実績値やニーズ調査結果を踏まえ今後の需要見込みを算出した。

(2) 児童数見込み（令和 2 年度～令和 6 年度）

(各年 4 月 1 日 単位：人)

	H31 (実績)	R2 (推計)	R3 (推計)	R4 (推計)	R5 (推計)	R6 (推計)
0 歳	773	737	719	699	679	651
1 歳	840	795	758	740	719	698
2 歳	861	853	807	770	751	730
3 歳	925	866	858	812	774	755
4 歳	1,024	935	875	867	820	782
小計	4,423	4,186	4,017	3,888	3,743	3,616
5 歳	1,017	1,022	933	873	865	819
6 歳	1,013	1,020	1,026	936	876	868
7 歳	1,052	1,014	1,021	1,026	937	877
8 歳	1,044	1,055	1,017	1,024	1,029	939
9 歳	1,040	1,042	1,053	1,015	1,022	1,028
小計	5,166	5,153	5,050	4,874	4,729	4,531
10 歳	1,022	1,049	1,052	1,063	1,024	1,031
11 歳	1,086	1,026	1,053	1,055	1,067	1,028
12 歳	1,023	1,087	1,027	1,054	1,057	1,068
13 歳	948	1,022	1,087	1,026	1,054	1,056
14 歳	1,058	949	1,023	1,088	1,027	1,055
小計	5,137	5,133	5,242	5,286	5,229	5,238
合計	14,726	14,472	14,309	14,048	13,701	13,385

3 需要見込みについて

(1) 教育・保育

平成27年度から平成31年度にかけての年齢別の認定率の傾向、ニーズ調査において示された潜在的ニーズや幼児教育・保育の無償化による利用増を考慮して、令和2年度以降も利用率が増加するものとして算出した。

(単位:人)

令和2年度					
量の 見込	区分	1号	2号	3号	
		3歳以上		0歳	1、2歳
	量の見込	1,647	1,092	98	671
	他市町からの受入	114	0	0	0
	小計	1,761	1,092	98	671
現状	幼稚園・認定こども園	1,969			
	保育所・認定こども園		1,050	105	490
	地域型保育			17	97
	企業主導型保育		0	0	26
	認可外保育		26	6	14
	他市町への受入	0	0	0	0
	小計	1,969	1,076	128	627
	不足分	-	▲16	-	▲44

令和5年度					
量の 見込	区分	1号	2号	3号	
		3歳以上		0歳	1、2歳
	量の見込	1,316	1,071	109	680
	他市町からの受入	105	0	0	0
	小計	1,421	1,071	109	680
現状	幼稚園・認定こども園	1,969			
	保育所・認定こども園		1,050	105	490
	地域型保育			17	97
	企業主導型保育		0	0	26
	認可外保育		26	6	14
	他市町への受入	0	0	0	0
	小計	1,969	1,076	128	627
	不足分	-	-	-	▲53

令和3年度					
量の 見込	区分	1号	2号	3号	
		3歳以上		0歳	1、2歳
	量の見込	1,504	1,084	103	671
	他市町からの受入	111	0	0	0
	小計	1,615	1,084	103	671
現状	幼稚園・認定こども園	1,969			
	保育所・認定こども園		1,050	105	490
	地域型保育			17	97
	企業主導型保育		0	0	26
	認可外保育		26	6	14
	他市町への受入	0	0	0	0
	小計	1,969	1,076	128	627
	不足分	-	▲8	-	▲44

令和6年度					
量の 見込	区分	1号	2号	3号	
		3歳以上		0歳	1、2歳
	量の見込	1,232	1,055	109	680
	他市町からの受入	102	0	0	0
	小計	1,334	1,055	109	680
現状	幼稚園・認定こども園	1,969			
	保育所・認定こども園		1,050	105	490
	地域型保育			17	97
	企業主導型保育		0	0	26
	認可外保育		26	6	14
	他市町への受入	0	0	0	0
	小計	1,969	1,076	128	627
	不足分	-	-	-	▲53

令和4年度					
量の 見込	区分	1号	2号	3号	
		3歳以上		0歳	1、2歳
	量の見込	1,399	1,077	107	674
	他市町からの受入	108	0	0	0
	小計	1,507	1,077	107	674
現状	幼稚園・認定こども園	1,969			
	保育所・認定こども園		1,050	105	490
	地域型保育			17	97
	企業主導型保育		0	0	26
	認可外保育		26	6	14
	他市町への受入	0	0	0	0
	小計	1,969	1,076	128	627
	不足分	-	▲1	-	▲47

【1号】
満3歳以上の学校教育のみ(保育の必要性なし)の就学前子ども

【2号】
満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども(保育を必要とする子ども)

【3号】
満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども(保育を必要とする子ども)

現状施設の総定員からすると、1号認定子どもについては十分に確保できる見込みであるが、特に3号認定子どものうち1・2歳児の確保が困難な状況が続く見込みとなる。

(2) 地域子育て支援事業

1	放課後児童健全育成事業 【単位：人】	事業内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童たちに、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る。				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
		小学1年生	328	351	338	334	348
		小学2年生	260	271	283	268	259
		小学3年生	251	255	270	285	272
		小学4年生	137	149	154	166	177
		小学5年生	45	53	61	66	74
		小学6年生	22	26	30	34	37
	合計	1,043	1,105	1,136	1,153	1,167	
	算出の考え方	平成27年度から平成31年度にかけての低学年・高学年別の利用傾向、ニーズ調査において示された潜在的ニーズや就学前教育・保育の無償化の影響による利用増を考慮して、令和2年度以降も利用率が増加する見込みとした。					
	現状	市内に32か所の児童クラブを開設し、定員超過のクラブの児童を空きがあるクラブに送迎することで、待機児童の発生を防いでいる。 【平成31年度利用実績：981人、施設定員：1,202人】					
2	時間外保育事業 【単位：人】	事業内容	保護者の就労状況等により、保育所等の通常の保育時間を超え、延長して保育を実施する。				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
			1,228	1,226	1,226	1,227	1,216
		算出の考え方	ニーズ調査結果も考慮し、利用率が最大だった年度の利用率を採用して、利用ニーズを算定。				
	現状	市内すべての保育所、認定こども園、小規模保育にて事業を実施。 【平成30年度実績：1,070人】					
3	子育て短期支援事業 (ショートステイ) 【単位：人日】	事業内容	保護者の入院や育児疲れなどにより一時的に養育困難となった児童について、児童福祉施設で保護者に代わって、一定期間必要な保護を行う。				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
			38	37	36	35	34
		算出の考え方	ニーズ調査結果も考慮し、利用率が最大だった年度の利用率を採用して、利用ニーズを算定。				
	現状	複数の児童養護施設で事業を実施。【平成30年度実績：8人日】					
4	地域子育て支援拠点事業 【単位：人日】	事業内容	地域の身近なところで、子育て中の親子が気軽に交流し、子育て相談ができる場所を提供する。(多世代交流館子育て交流ひろば、駅前子育て交流ひろば、地域子育て支援センター、駒ヶ谷運動公園子育て交流ひろばの4施設)				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
			24,141	23,160	22,473	21,945	21,331
		算出の考え方	利用傾向、ニーズ調査での潜在的ニーズも考慮して、児童数は減少するが、令和2年度以降も利用率が増加する見込みとした。				
	現状	上記4施設にて事業を実施。【平成30年度実績：26,046人日】					
5	一時預かり事業 (幼稚園型) 【単位：人日】	事業内容	幼稚園等で通常の保育時間を超え、延長して子どもを預かる				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
			60,878	56,905	54,388	52,465	50,258
		算出の考え方	利用傾向、ニーズ調査での潜在的ニーズや就学前教育・保育の無償化の影響を考慮して、令和2年度以降も利用率が増加する見込みとした。				
	現状	市立幼稚園、私立幼稚園、認定こども園で事業を実施。 【平成30年度実績：60,294人日】					

6	一時預かり事業 (幼稚園型除く) ※保育所 【単位:人日】	事業内容	保護者の出産やリフレッシュ、短期のパートタイム就労等、子育て家庭のニーズに合わせて、保育所等で子どもを一時的に預かる。				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
			4,695	4,337	4,072	3,854	3,634
		算出の考え方	ニーズ調査結果も考慮し、利用率が最大だった年度の利用率を採用して、利用ニーズを算定。				
	現状	私立保育園、認定こども園で事業を実施。【平成30年度実績:4,764人日】					
7	一時預かり事業 (幼稚園型除く) ※ファミリーサポートセンター(就学前) 【単位:人日】	事業内容	子どもを預かってほしい保護者(依頼会員)と、預かることのできる人(協力会員)とが育児の相互援助活動を行う会員制のしくみ。				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
			1,681	1,598	1,537	1,488	1,432
		算出の考え方	ニーズ調査結果も考慮し、利用率が最大だった年度の利用率を採用して、利用ニーズを算定。				
	現状	協力会員348人、両方会員133人の体制で事業を実施。【平成30年度実績:1,465人日】					
8	病児保育事業 【単位:人日】	事業内容	病中や病後の子どもを保護者が家庭で保育できない場合に、診療所に付設された専用スペース等において看護師と保育士が医師と連携しながら保育する。				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
			364	352	340	327	313
		算出の考え方	実績に基づいて小学3年生以下の人口に対して、利用率が最大だった年度の利用率を採用して、利用ニーズを算定。				
	現状	市内1か所の施設にて事業を実施(1日4名)。【平成30年度実績:266人日】					
9	ファミリーサポートセンター(就学後) 【単位:人日】	事業内容	子どもを預かってほしい保護者(依頼会員)と、預かることのできる人(協力会員)とが育児の相互援助活動を行う会員制のしくみ。				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
			1,134	1,137	1,118	1,088	1,054
		算出の考え方	ニーズ調査結果も考慮し、利用率が最大だった年度の利用率を採用して、利用ニーズを算定。				
	現状	協力会員348人、両方会員133人の体制で事業を実施。【平成30年度実績:755人日】					
10	利用者支援事業 【単位:か所】	事業内容	子育て家庭のニーズに合わせて、保育所・認定こども園などの施設や、地域の子育て支援などから必要な支援を選択して利用できるよう、情報提供や相談・援助を行う。				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
			増	増	増	増	増
		算出の考え方	母子保健型の地域相談体制強化を見込む。				
	現状	保育担当課の「保育コンシェルジュ」と、チャッピーサポートセンターの専任保健師の配置による対応。【平成30年度実績:2か所】					
11	妊婦健康診査 【単位:人】	事業内容	妊婦が健やかな妊娠期を過ごし、安心して出産を迎えていただくための健康診査。				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
		人数	1,121	1,090	1,059	1,015	972
		健診回数	7,847	7,630	7,413	7,105	6,804
		算出の考え方	次年度0歳児数に対する過去の利用実績の平均からニーズ量を算出。健診回数は1人当たり7回。				
	現状	対象者への受診勧奨と助成を継続しながら、事業を実施。【平成30年度実績:1,161人、健診回数:7,828回】					

12	乳児家庭 全戸訪問事業 【単位:人】	事業内容	乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や子育ての相談に応じる。 (新生児訪問、こんには赤ちゃん事業)				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
			719	699	679	651	623
		算出の 考え方	次年度0歳児数をニーズ量として設定。				
		現状	新生児訪問事業とこんには赤ちゃん事業により対応。【平成30年度実績:794人】				
13	養育支援訪問 事業 【単位:人】	事業内容	育児や家事が困難となっている家庭を訪問し、援助活動を行う。				
		量の見込	R2	R3	R4	R5	R6
			32	33	34	35	36
		算出の 考え方	過去の実績を考慮して利用率が計画期間内に上昇すると仮定。				
		現状	さんだっ子・夢サポーター(登録4名)による援助活動により対応。 【平成30年度実績:28人】				